

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校 訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

中村文昭さん講演会

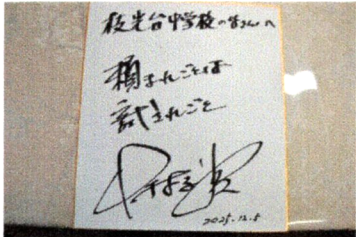
今月5日に中村文昭さんをお招きしての講演会が行われました。生徒の心に大変印象に残った講演会になりました。下の言葉は中村さんのHPにありました。講演の中でも「頼まれごとは、試されごと」「人との出会いを大切に」を繰り返し言われていました。

何か行動をしようと決断するとき、それを、「できるかどうか」で判断することがあります。しかし、できるかどうかは、やってみないとわからないことです。にもかかわらず「間違いそうだから」とか「失敗しそうだから」と言って、結局は何もせずに終わってしまう人が多くいます。行動の基準を失敗するかしないかで決めるのは、人前で恥をかきたくないという心理からくるものなのかもしれません。

「やったことがないのでできません」「間違えたら困るので引き受けられません」と心の中で訴えても現実的にはそうはいきません。しかし、自分が上司になったつもりで考えてみてください。みすみす失敗しそうな人に大事な仕事を任せる人はいません。この人ならできると思うからこそ任せると思います。つまり、頼まれる時点でできることは決まっているのです。

(中村文昭さんのホームページから)

(生徒の感想から)



○今まで聞いてきた講演会の中で一番印象に残った講演会でした。私も受験生になり何度も「将来何になりたいの?」と聞かれてきました。これといった夢のない私は「公務員」や「大学に進学する」と返してきました。今日の講演を聞いて将来への不安が「わくわく」に変わりました。私もまっすぐに努力し、自分の力で楽しいと思える夢をつかみたいと心の底から思いました。そのためには「頼まれごとは試されごと」という中村さんの言葉を意識して、これから出会う様々な人と深くつながり「ありがとうね」といわれる人生で夢を探していきたいです。(3年生)

○私は今、すでに将来への夢があります。しかし、それに向けて行動したことがありません。講演を聞いてこれから行動すればよいと思いました。「頼まれごとは試されごと」の言葉の通り人から頼まれたことはその人を驚かせるくらいのがんばりをしたいと思いました。将来夢をかなえて、目の前の人を驚かせるくらいの仕事をしたいです。また、私は不安を語る大人より希望を語れる大人に成長していき、常に夢に向かい「ありがとう」と言われる回数を毎日増やしていける大人になります。講演会で素敵な話が聞けて良かったです。(3年生)

○今日の講演を聞いて自分の考えが変わった気がしました。私は将来どんな大人になりたいか考えるとやっぱり幸せに生きたいし、皆から感謝される人生を生きていきたい。そのためには、今、この瞬間を全力でがんばること、そのことが幸せな人生につながるということを今日の講演を聞いて感じました。中村さんの話が聞けて大変良かったです。(2年生)